

## <株式会社エフエム東京 第389回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成 24 年 6 月 5 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数 7 名(社外7名 社内 0 名)

### ◇出席委員(6 名)

青 池 慎 一 委員長	横 森 美奈子 副委員長
渡 辺 貞 夫 委員	内 館 牧 子 委員
香 山 リカ 委員	西 田 善 太 委員

### ◇欠席委員(1 名)

秋 元 康 委員

### ◇社側出席者(11 名)

富木田 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
黒 坂 常務取締役  
石 井 常務取締役  
平 取締役営業局長  
藤 取締役マルチメディア放送事業本部長  
長 澤 常勤監査役  
小 林 執行役員編成制作局長  
延 江 編成制作局局次長 兼 番組制作部長  
森 田 編成制作局局次長 兼 編成部長  
原 田 編成制作局番組制作部プロデューサー(オブザーバー)

### ◇社側欠席者(0 名)

**【事務担当 小林放送番組審議会事務局長】**

4. 議題: 番組試聴 (約 26分)

『SATURDAY WAITING BAR AVANTI』

2012 年 5月12日(土) 17:00～17:50

## 《議事内容》

### 議題1:最近の活動について

#### ◎4月度聴取率調査 結果について

ビデオリサーチ社による2012年4月度（調査期間4月16日～22日）聴取率調査結果が発表されました。今回は、個人全体聴取率について、在京ラジオ局全体数値がやや下降する中、当社もやや数字を下げる結果となりました。

メインターゲットであるM1F1層についても前回2月調査同様となり、中波を含めた在京全局中2位から抜け出すことは出来ませんでした。

ただ首位局とは極めて僅差となっており、また20代、30代女性が微増していることから、4月改編新番組への新規リスナー流入をさらに推し進め、首位奪還を目指したいと考えております。

#### ◎「山下達郎のTSUTAYA サンデー・ソングブック」放送文化基金賞受賞について

4月の当審議会において御試聴いただきました、3月11日放送の「山下達郎のTSUTAYA サンデー・ソングブック」が、第38回放送文化基金賞のラジオ番組部門で優秀賞を受賞することとなりました。

併せて、同番組パーソナリティ山下達郎氏が個別分野・出演者賞を受賞いたしました。

放送文化基金賞は、広く放送文化の発展に寄与することを目的として1974年に設立された放送文化基金（2011年より公益財団法人）が、毎年、1年間に放送された、優れた放送番組等に対して実施している表彰事業です。

#### ◎ radiko 人気番組ランキングについて

IPサイマルラジオ配信サービスradikoの公式facebookページが、5月18～31日に実施したアンケート“あなたのお気に入りのラジオ番組は？”の結果が発表となり、フルネット番組『NISSAN あ、安部礼司～beyond the average～』がトップの投票数を獲得いたしました。

また、その他にも『福山雅治のSUZUKI Talking F.M.』『サントリーサタデー・ウェイティング・バー AVANTI』『山下達郎のTSUTAYA サンデー・ソングブック』『JET STREAM』もベスト10にランキングされる結果となりました。

## 議題2: 番組試聴 (約26分)

【番組名】『SATURDAY WAITING BAR AVANTI』

【放送日時】 2012年 5月12日(土) 17:00~17:50

### 【番組概要】

土曜日夕方5時からJFN38局で放送している人気番組、「Suntory Saturday Waiting Bar AVANTI」が、今年、放送開始20周年を迎えました。

番組の舞台となるのは、東京港区、元麻布の住宅街に佇むイタリア料理店「AVANTI」。店名の「アヴァンティ」はイタリア語で「お入りなさい」という意味です。その名の通り、週末になると、気軽に一杯を楽しめるウェイティング・バーには、国籍・性別・年齢を超えた、さまざまなゲスト達が集い、グラス片手におしゃべりの花を咲かせます。番組では、そんなゲスト達の日常会話を、極上の音楽とともにお届けしてきました。

本日、お聴き頂くのは、5月12日に放送された20周年記念特別企画。JFNを代表する人気ラジオパーソナリティ、大沢たかおさん、松任谷由実さん、今井美樹さん、やまだひさしさんがお店を訪れ、「ラジオ」をテーマにトークを繰り広げます。

## 【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- カズミさんの芝居のテンションがあまりにも大げさなことが気になった。  
あのテンションでやるなら、もっと短くしたほうが良い。  
聞いた限りでは、舞台が元麻布のイタリアンである必然性を感じない。住宅地にひっそり佇むイタリアンのウェイティングバー、という夢のある設定ならば、その要素をもっと出さないと、単なるトーク番組になってしまう。  
音楽のかけ方も唐突感があった。
- ゲストを呼んでリラックスした時間を過ごそうという趣旨なのに、会話が自然じゃない。脚本を読んでものがわかってしまう。長年やっている番組なら、スタッフがもっとゲストの話をスムーズに引き出せるのではないか。  
バーテンダーの声はクリアだが、ゲストの声は聞き取りにくい。音質の差が不自然だった。  
音楽はノスタルジックな曲ばかりでなく、若い人にあわせて現代的な曲を流してもいいのではないか。
- 番組がスタートした 20 年前はバブル崩壊直後で、AVANTI のようなお洒落な場所はもう無くなっていた。番組を自然に作りすぎると「こんな場所はもう無いじゃない」と思ってしまうが、少し作られた感じがあることで「こんな場所があったらいいな」という気持ちで聞ける。そんなリアルとフィクションの間にある微妙なバランスが、番組の持ち味になっている。  
私は「診察室」という擬似トーク空間で患者の話を聞いているが、そうした擬似的な親密な空間を求めている人は沢山いる。そういう意味で、この番組のリアルとフィクションのバランスは、リスナーにはちょうど良いのではないか。
- 私はこの番組の初回に出演しており、最多出演者でもある、初対面の人から、限られた収録時間で面白い話を引き出すことを、この番組で教わった。  
昔の AVANTI は、出演者は有名人ではないが、とにかく面白い話をして笑わせよう、というスタイルだった。今は有名人志向になっている事は否めない。  
AVANTI という店は、1963 年オープン等の細かな背景が設定されており、番組の中でも、店の歴史やバーテンダーの代替わりの話などを入れて来ている。  
リスナーと一緒に育てる店、というスタンスで、スタート当初の BAR から今はバルに変える等、時代にあわせて来ている。ただし、番組の作り方は基本的に変わっておらず、そういう意味では奇跡的な番組のひとつ。

- この番組は車の中で聞くことが多いが、真剣に聴くと辛い。  
ちょっとクサイところがあるが、それも20年続くと持ち味になると思う。  
スタート当初の20年前までは、バーは男の場所だったが、今は女性が当たり前のように入出りできる場所になった。そんな現状をカズミさんで表現しているのかもしれない。  
ゲストがくつろいで素で喋っているのが魅力だし、時間帯もいい。  
これからもいい形で続いて欲しい。
  
- ゲストの話がとても面白いのだが、カズミさんとは何者だろう？バーデーターとはどういう関係だろう？という疑問が浮かび、存在に不自然さを感じる。  
もちろんバーチャルな設定ではあるが、彼女の存在がもっと番組になじむように演出して欲しい。
  
- 個人的にはカズミさんを好きではないが、あえて「ベタな存在」を入れる、という意図があるのか？
  
- 20年経つと、リスナーも歳をとって、30代～50代になっているが、番組としては、若い20代にも、BARの楽しさを体験して欲しいという思いがある。  
そこでカズミさんという若い女性キャラクターを登場させた。
  
- 番組を続けていくことに汲々として、台本のクオリティが下がっている。  
昔は、番組で紹介された話を、「ネタ」として飲み屋でそのまま話せるほど面白かったが、今は、有名人が自分の感想を言っているだけ。  
もっと20代の面白い人間を登場させないと、番組も歳をとってしまう。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「JOG LIS RUN GIRLS SUNDAY」  
6月24日(日)6:00～7:30 放送
- ② 書面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

#### 7. その他

次回審議会を、7月3日(火)に開催することを決めた。